

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】令和7年2月19日(2025.2.19)

【公開番号】特開2023-162618(P2023-162618A)
【公開日】令和5年11月9日(2023.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-211
【出願番号】特願2022-73067(P2022-73067)
【国際特許分類】

C 0 8 J 7/00(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

B 2 9 C 45/00(2006.01)

【F I】

C 0 8 J 7/00 3 0 5

C 0 8 J 7/00 C E Z

B 3 2 B 27/00 1 0 3

B 2 9 C 45/00

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月10日(2025.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体部と、前記本体部を被覆する表層部と、を具備し、

前記本体部及び前記表層部のいずれでも、赤外分光光度計による測定によって、波数1295～1340 cm^{-1} の範囲に表れるピークAと、波数1265～1295 cm^{-1} の範囲に表れるピークBと、を含む赤外吸収スペクトルが得られ、

前記ピークAの強度A'の前記ピークBの強度B'に対する比率A'/B'が前記表層部において前記本体部よりも高い

芳香族ポリエーテルケトン成形体。

【請求項2】

請求項1に記載の芳香族ポリエーテルケトン成形体であって、

ポリエーテルエーテルケトン及びポリエーテルケトンの少なくとも一方で形成されている

芳香族ポリエーテルケトン成形体。

【請求項3】

請求項1に記載の芳香族ポリエーテルケトン成形体であって、

添加剤を含む芳香族ポリエーテルケトンで形成されている

芳香族ポリエーテルケトン成形体。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか1項に記載の芳香族ポリエーテルケトン成形体であって、

摺動部材として構成される

芳香族ポリエーテルケトン成形体。

【請求項5】

請求項4に記載の芳香族ポリエーテルケトン成形体であって、

ギヤ部材として構成される

10

20

30

40

50

芳香族ポリエーテルケトン成形体。

【請求項 6】

赤外分光光度計による測定によって、波数 $1295 \sim 1340 \text{ cm}^{-1}$ の範囲に表れるピーク A と、波数 $1265 \sim 1295 \text{ cm}^{-1}$ の範囲に表れるピーク B と、を含む赤外吸収スペクトルが得られる成形体を作製する工程と、
前記成形体の表面に電子線を照射することで、前記成形体の表層部における前記ピーク A の強度 A' の前記ピーク B の強度 B' に対する比率 A' / B' を増大させる、前記成形体の表面に電子線を照射する工程と、

を含む芳香族ポリエーテルケトン成形体の製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の芳香族ポリエーテルケトン成形体の製造方法であって、
前記電子線を照射する工程では、前記成形体を加熱する
芳香族ポリエーテルケトン成形体の製造方法。

10

20

30

40

50